予算・決算常任委員会での主な 質疑・答弁

第３回定例会初日の９月10日、町長から提案された令和５年度城里町決算（６会計）について詳細に審査するため、予算・決算常任委員会に付託し審査されることになりました。

昨年度までは特別委員会を設置、分科会方式での審査をしておりましたが、予算・決算常任委員会を設置したため、全議員（議長を除く）での審査方法に変わりました。委員会での質疑・答弁等の主なものは次のとおりです。

１日目（９月11日）

令和５年度一般会計決算の総務民生常任委員会所管分・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険特別会計の決算について審査しました。

予算・決算常任委員会１日目の審査状況

（一般会計）

歳入

問 地方揮発油税・ゴルフ場利用税の減額について

答 揮発油税はガソリン等に係る税収によって交付金が変動するため減に、ゴルフ場利用税も県が徴収した税額の確定に伴い減となりました。

問 入湯税、その後順調に納入されているのか。

答 納期内に納入されています。

問 不納欠損の一番の理由は何か。

答 所在不明が一番の理由です。

歳出

問 広報しろさと全戸配布を。各施設の残部数は。

答 ポスティングも検討しているところですが課題です。残部数は、具体的には把握していませんが、より広く住民に配布ができるような方法を検討してまいります。

問 路線バス補助事業（成沢線）、国県の補助はないのか。

答 フィーダー系統路線については補助がありますが、この路線にはないため県央地域で要望してまいります。

問 自治振興交付金交付事業について、昨年度との比較は。

答 ４年度末は４１９、５年度末に４１０と、９自治会減少しました。

問 七会町民センターバーベキュー場の日よけ用の樹木の植栽は大きいものか。

答 日よけになるには数年かかります。

問 敬老事業について、75歳以上が３，８３６人。そのうち式典に参加できた方は何名くらいか。

答 およそ３００人弱です。

問 高年者クラブは各地区に何団体あるのか。

答 常北地区８団体、桂地区12団体、七会地区２団体の22団体です。

問 給食費補助事業について、町外保育施設入所児童分とあるが、実人数は何名か。

答 10名です。

問 予備費流用について、年度末に８００万円流用し、開発公社へ支出したようだが、開発公社から依頼文が来たのか。

答 依頼文、協定変更契約の申し出がありました。

（国民健康保険特別会計）

問 不納欠損は何名いるのか。

答 86名です。

（後期高齢者医療特別会計）

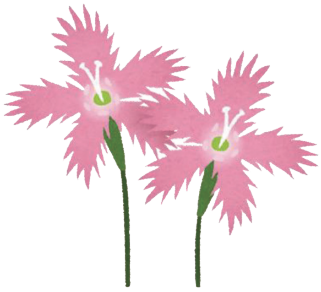
問 不納欠損は何名いるのか。

答 12名です。

（介護保険特別会計）

問 不納欠損は何名いるのか。

答 61名です。



2日目（9月12日）

令和5年度一般会計決算の教育産業常任委員会所管分・水道事業会計・下水道事業会計の決算について審査しました。

予算・決算常任委員会２日目の審査状況

（一般会計）

歳入

問　町営住宅使用料について。

答　過年度分の未済額は、ここ5年で約2，000万円ほど減ってきています。

問　奨学金を受けている方は何名くらいいるのか。貸し付けの免除はないのか。

答　7名の方に貸し付けしています。城里町は条件なしで貸し付けているので免除は行っていません。

歳出

問　地域おこし協力隊（農業分野）の就農率は。

答　80％の就農率です。

問　新規就農者等支援事業補助事業について。

答　次世代人材投資資金を受けている方が5名、新規就農者育成総合対策補助金は2名受けています。

問　町道維持補修事業（町内全域）について。

答　予算的に1か所で予算がかかるものについては、路線決定し補正で対応しています。区長から要望があったU字溝や道路については、この事業で対応しています。

問　町営住宅除草事業について。

答　最低でも年に2回は実施しています。

問　町営南・米沢団地建替事業について、新しく建て替えたところの床が節穴だと聞いたが。

答　仕様書の中で謳っており、最低限度よりは上のものを使っています。悪質なものを使っているわけではありません。

問　町営住宅移転支援事業（繰越）について。

答　以前は引っ越しが完了したときに一括で20万円お支払いしていましたが、現在は移転が決まれば、概算で8割、完了後に残額をお支払いしています。

問　町道7－03号線落石対策事業について。

答　距離があるので、5か年で危険であるところを対応して実施したいと考えています。

問　通学費助成事業について、バスが走っていない常陸太田方面への補助は。

答　公共交通機関を利用していただければ補助は出ます。

問　学校生活支援員は、中学校には配置されないのか。

答　学校生活のサポート等は基本的に4年生くらいまで。中学校では必要なくなってきますが、以前中学校でもサポートをつけていた時もあります。

問　ふれあいの船事業、体調を崩して不参加になった方の負担金はどうなっているか。

答　参加費2万7，000円のうち1万8，900円を返還しています。

問　黒沢止幾生家屋根シート補修事業について、文化財保護、今後の計画は。

答　検討委員会において解体して保存することになっていますが、予算を計上できないでいます。

（水道事業会計）

問　有収率について。

答　令和5年度の有収率は、75．28％。前年度よりは少し改善していますが、近隣市町村と比べても低い方だと思います。

（下水道事業会計）

質疑はありませんでした。